

対象でん粉原料用いも生産者 要件審査申請の手引き

対象生産者の要件

B-2	④ 収穫面積の合計が0.5ha以上である生産者（法人含む）
-----	-------------------------------

上記に加え、次の項目も要件となります。

- でん粉製造事業者との「でん粉原料用かんしょ売渡契約」に基づき生産していること
- 「環境と調和のとれた農業生産の実施状況に係る点検シート」により、自ら点検を行っていること

1. 要件審査申請を行うために必要な提出書類（＊）

- 対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書
（別紙様式第2号（B1））・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- でん粉原料用かんしょ売渡契約書（参考様式第1号）の写し・・・・・・・・ 2

〔作付面積のうち自らが収穫を行う面積の合計が0.5ha未満の場合、以下のいずれか一方を提出〕

- でん粉原料用かんしょ作業受委託契約書（参考様式第3号）の写し、基幹作業実施証明書（参考様式第4号）の写し、基幹作業実施報告証明書（参考様式第8号）のいずれか・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

☑：なお、すべての売渡し完了後の提出でも可

〔事務手続きを委任する場合は、以下のいずれか一方の方法により委任状を提出〕

- 対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書を提出する際に、同様式内にある委任状欄を記載
- 対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請及びでん粉原料用いも交付金の交付申請に係る委任状（参考様式第2-1号）、
でん粉原料用いも交付金の交付申請に係る委任状（参考様式第2-2号）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2. 保管することが必要となる書類

- 環境と調和のとれた農業生産の実施状況に係る
点検シート（別紙様式第1号）・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

＊ 複数の代理人に委任する場合でも、要件審査申請を委任する代理人（1者のみ）に対して、申請書類を提出してください。

対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書 記入例

対象要件区分: B-2④用

黒のボールペンでご記入ください

別紙様式第2号 (B1) 令和 年産対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書

申請年月日 令和 年 月 日

独立行政法人農畜産業振興機構 理事長 殿

代理申請者使用欄

対象生産者コード (以前に通知がされている場合)

1. 申請者名 (個人の場合、フリガナは姓名の間に1文字空けること) 2. 代表者名 (組織・法人による申請の場合に記入) 3. 住所等 (組織・法人による申請の場合、主たる事業所の住所等を記入)

フリガナ: 農畜 太郎

氏名: 農畜 太郎

フリガナ: 農畜 太郎

氏名: 農畜 太郎

生年月日: 平成 28 年 10 月 1 日 性別: 男

〒 123-4567 Tel (012) 345-6789 Fax (012) 345-6780

住所: 〇〇県△△市〇〇1-2-3

4. 共同利用組織名 (B-3による申請の場合に記入) 5. 免税・課税事業者の登録

6. 振込口座情報 (代理人による交付申請及び受領の場合は記入不要)

7. 対象要件区分

8. かんしよ収獲予定面積等 (10の経帳表をもとに記入) (面積は全て小数第2位を四捨五入して記入)

9. 添付資料

10. かんしよ収獲予定面積等詳細表 (面積は全て小数第2位を四捨五入して記入)

任意項目

以下に計算式に関係する数字を記入すること。

B-2のみ記入

B-3、B-4のみ記入

＜対象要件審査申請及び交付申請に係る個人情報の取扱いについて＞

ご自身の課税区分を確認のうえ、該当する区分にチェックを入れてください。

該当する対象要件区分にチェックを入れてください。

売渡予定工場が複数の場合は、すべて記入してください。

当年産の収獲部分のみとなりますのでご注意ください。また、記入する単位は(アール)です。

地番が分からない場合は、ほ場番号も記入してください。

記入内容を訂正する場合は、二重線で訂正する箇所を消し、訂正内容が分かるように記入してください。

B-2の場合、上段の計算式を記入してください。

提出期間は6月1日～7月31日までとなります。

過去に申請したことがない者は、審査申請後、申請者にコードをお知らせしますので、初年度は記入する必要はありません。

代理人に委任する場合は記入してください。

複数の代理人に委任する場合は、要件審査申請書の提出以降に発生する審査結果の通知の受領を委任する者(要件審査申請をとりまとめる者)と交付申請を委任する者(複数選択可能)をそれぞれ記入してください。

「委託者」とは、申請者が基幹作業を委託した者のこと。

「委託者」とは、申請者に収獲作業を委託した者のこと。

品種名で記入してください。

作型を記入してください。

売渡契約書の記載例

収入

印紙

でん粉原料用かんしょ売渡契約書（例）

甲が砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律第33条第1項に基づく「でん粉原料用いも交付金」の交付対象の要件を満たすことを前提に、甲が乙に売り渡す令和〇〇年産でん粉原料用かんしょについて以下の契約を締結する。

なお、本契約に基づき甲が乙に売り渡すでん粉原料用かんしょは、砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律施行規則第48条の表の中欄に掲げる用途に販売される国内産いもでん粉の製造用とする。

必須項目

1. でん粉原料用かんしょ品種別出荷予定数量

実際に植付けした品種を記載してください

品種名	売渡予定数量 (kg)
シロユタカ	17,500
コナホマレ	4,000
ダイチノユメ	1,500
コガネセンガン	4,500
計	27,500

2. 売渡規格

3. 売渡期間

4. 売渡場所

5. 売渡方法

6. 品種別かんしょ価格

必須項目

令和〇〇年〇月〇日付けで約定した、でん粉原料用かんしょの価格形成及び取引に関するガイドラインに基づき算定した品種別かんしょ価格は以下のとおり。

ただし、下表のいも販売額のうち、消費税及び地方消費税の税率が変更された場合におけるでん粉原料用いも交付金相当額以外の部分に係る消費税及び地方消費税相当額は、変更後の税率により計算した額とすることができるものとする。

品種名	1 トン又は1俵 (37.5 kg) 当たり価格	
シロユタカ、コナホマレ、ダイチノユメ	いも販売額	〇〇〇〇 円/トン (税込)
	参考 (でん粉原料用いも交付金相当額)	〇〇〇〇 円/トン
コガネセンガン	いも販売額	〇〇〇〇 円/トン (税込)
	参考 (でん粉原料用いも交付金相当額)	〇〇〇〇 円/トン

約定に基づく品種別かんしょ価格を記載します。なお、交付金相当額との同時支払いを行う場合は、交付金相当額を参考として明記します。

7. かんしょ代金支払時期及び支払方法

必須項目

(例) 乙は、甲から売り渡されたかんしょについて、〇日分の代金をまとめ、最終原料売渡日から〇日後に以下の口座に振込むこととする。

金融機関名	▼▼銀行	支店・支所名	◎支店	金融機関コード	1234
口座種別	当座・普通	口座番号	5678	口座名義	◎●〇〇

決済方法を具体的に記載します。

※ 口座名義にはフリガナをつけること。

必須項目

令和〇〇年〇月〇日

(甲) 農畜 太郎

〇〇県△△市□□1-2-3

印

(乙) 〇〇農業協同組合 代表理事組合長 でん粉 一郎 〇〇県△△市▼▼4-5-6

印

令和〇〇年産でん粉原料用かんしょ作業受委託契約書

必須項目

委託者 **かんしょ 太郎** を「甲」、受託者 **農畜 太郎** を「乙」として、次のとおり作業受委託契約を締結する。この契約書は、2通作成して受託者及び委託者がそれぞれ1通を所持する。

令和〇〇年〇月〇〇日

(甲) 住所 **〇〇県△△市■▲3-2-1番地** (甲) 対象生産者コード

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

氏名 **かんしょ 太郎** 印
電話番号 **012-987-6543**

(乙) 住所 **〇〇県△△市□□1-2-3** (乙) 対象生産者コード

9	9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

氏名 (組織名) **農畜 太郎** 印
電話番号 **12-345-6780**

必須項目

1. 作業受委託の場所、種類及び面積

当年産の収穫に係る面積を記入してください。

地名・地番 (地番が不明である場合は、ほ場が識別できる番号)	ほ場 面積	受委託する基幹作業の種類及び面積					
		育苗	耕起・整地	畝立て・マルチ	植付け	防除	収穫
〇〇県△△市□□□200-3	a	a	a	a	a	a	30a
〇〇県△△市□□□200-4	a	a	a	a	a	a	40a
	a	a	a	a	a	a	a
合計	a	a	a	a	a	a	70a

合計欄もそれぞれ忘れずに記入してください。

必須項目

2. 受託料の単価

	全作業	耕起・整地	株出管理	植付け	防除	中耕培土	収穫
単価 (単位記載※)							〇〇円/a

※「a当たり」または「トン当たり」等单位を明記すること。

任意項目

3. 受託料の支払

甲は、乙に作業を完了しことを確認した後、受託料を〇〇月末までに支払うものとする。

4. その他

甲と乙との間において、本契約書に記載された事項を変更する必要がある場合には、甲、乙協議のうえ変更することができるものとする。

基幹作業実施申込書 (かんしよ)

必須項目

申込年月日：令和〇〇年〇月〇〇日

申込先： 農畜 太郎

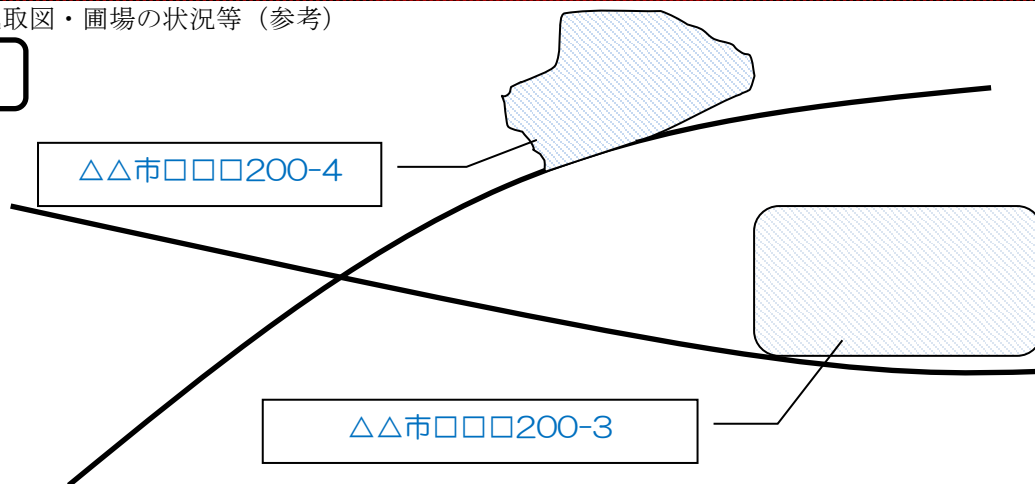
申込者氏名	かんしよ 太郎 印	対象生産者コード	1234567890	
住所	〇〇県△△市■▲3-2-1 番地			
電話番号	012-987-6543			
地名・地番 (地番が不明である場合は、ほ場が識別できる番号)	ほ場面積	作業面積	基幹作業種目	
△△市□□□200-3		30 a	収穫	
△△市□□□200-4		40 a	収穫	
合 計		70 a		

当年産の収穫に係る面積を記入してください。

合計欄もそれぞれ忘れずに記入してください。

現場見取図・圃場の状況等 (参考)

任意項目



必須項目

基幹作業実施証明書 (かんしよ)

上記のとおり基幹作業を令和〇〇年〇月〇〇日 (~〇〇年〇月〇〇日) に実施したことを証します。

令和〇〇年〇月〇〇日

作業実施者 対象生産者コード

9987654321

住所

〇〇県△△市□□1-2-3

組織名

代表者名

農 畜 太 郎

印

基幹作業実施報告証明書 (かんしょ)

独立行政法人農畜産業振興機構 理事長 殿

農協印等の印鑑が必要です。

住所 〇〇県〇〇市〇〇〇111-1
組織名 〇〇農業協同組合
代表者名 (担当者名) 代表理事組合長 でん粉 一郎 印
電話番号 099-〇〇〇-1234

令和 〇年〇月〇日付けで提出した基幹作業実施報告書に関する基幹作業の実施結果については、下記のとおりです。
なお、作業受託者については、施行規則第19条第1項第2号に定める受託者の要件を充足したことについても確認しましたので証明します。

当年産の収穫に係る面積を記入してください。

作業委託者等		防除実績				作業受託者			
対象生産者コード	氏名・組織名	地名・地番 (地番が不明である場合は、 ほ場が識別できる番号)	作業実施面積	基幹作業種目	共同防除・ 個人防除の別 (いずれかに○)	実施期間 年月日～年月日	対象生産者コード	対象要件区分	氏名・組織名
1234567890	かんしょ 太郎	△△市□□□200-4	40 a	収穫	共同・個人		9876543210	B-2	農畜 太郎
			a		共同・個人				
			a		共同・個人				
			a		共同・個人				
			a						
			a						
		小計	40 a						
		その他基幹作業面積	a						
		合計	40 a						
			a		共同・個人				
		合計	40 a						

合計欄もそれぞれ忘れずに記入してください。

注1：対象要件区分がB-1以外の作業実施者については、当該申込みに係る基幹作業のみを対象面積をその他基幹作業面積に記載する。

注2：本報告書に記載される共同利用組織、受託組織及びサービス事業者については、本報告を当該組織に係る参考様式第6-2号の基幹作業実施証明書に代えることができる。

注3：対象生産者コードが付与されていない者については、対象生産者コード欄に電話番号を記載すること。

注4：基幹作業種目欄に防除と記入した場合は、防除実績欄を記入すること（共同利用組織に限る）。

対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請及び
でん粉原料用いも交付金の交付申請に係る委任状

必須項目

令和〇〇年〇月〇日

必須項目

甲：委任者名（生産者名） 農畜 太郎
住 所 〇〇県△△市□□1-2-3

乙：被委任者名 〇〇農業協同組合 代表理事組合長 でん粉 一郎
住 所 〇〇県〇〇市〇〇〇111-1

必須項目

甲は、乙を代理人と定め、令和〇〇年産対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書の提出以降に発生する審査結果通知の受領、でん粉原料用いも交付金の交付申請及び受領に関する権限を委任します。

でん粉原料用いも交付金の交付申請に係る委任状

必須項目

令和〇〇年〇月〇日

必須項目

甲：委任者名（生産者名） 農畜 太郎
住 所 〇〇県△△市□□1-2-3

乙：被委任者名 〇〇農業協同組合 代表理事組合長 でん粉 一郎
住 所 〇〇県〇〇市〇〇〇111-1

必須項目

甲は、乙を代理人と定め、令和〇〇年産対象でん粉原料用いも生産者要件審査申請書兼補正届出書の提出以降に発生するでん粉原料用いも交付金の交付申請及び受領に関する権限を委任します。

環境と調和のとれた農業生産の実施状況に係る点検シート

【点検の方法】

- ① 毎年、各項目について、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）の趣旨を理解し、過去一年間の実行状況を点検します。
- ② 点検は、農業経営全体の状況について行います（例えば、作目ごとに点検する必要はありません）。
- ③ 点検は、農業者自らが行き、実行できていると判断する場合には、チェック欄にレ印か○印を付します。
- ④ 該当がない項目又は実行できなかった項目がある場合には、チェック欄には印を付けず、その項目ごとに下欄にその理由、当該項目に係る改善の予定などを記入します。
- ⑤ 作成した点検シート及び7の項目において保存することとした記録は、次回の点検まで保存します。

<p>1 土づくりの励行 たい肥等の有機物の施用等による土づくりを励行する。</p>	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> チェック欄 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/> </div>
<p>2 適切で効果的・効率的な施肥 作物特性や都道府県の施肥基準、土壌診断結果等に則して肥料成分の施用量及び施用方法を適切にし、効果的・効率的な施肥を行う。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>3 効果的・効率的で適正な防除 病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めるとともに、発生予察情報等を活用し、被害が生じると判断される場合には、必要に応じて農薬の使用その他の防除手段を適切に組み合わせ、効果的・効率的な防除を励行する。農薬の使用及び保管は、関係法令に基づき適正に行う。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>4 廃棄物の抑制と適正な処理・利用 作物の生産に伴って発生する使用済みプラスチック等の廃棄物について、その削減に努めるとともに関係法令に基づき適正な処理を行う。また、作物残さ等の有機物について利用及び適正な処理に努める。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>5 エネルギーの節減 省エネルギーを意識し、施設・機械等の使用及び導入に際して、不必要・非効率的なエネルギーの消費をしないよう努める。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>6 新たな知見・情報の収集 作物の生産に伴う環境に対する影響等に関して新たな知見及び適切な対処に必要な情報の収集に努める。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>7 生産に係る情報の保存 肥料、農薬等の資材を適正に保管するとともに、生産活動の内容が確認できるよう、それらの使用状況及び施設・機械等の電気・燃料の使用状況に係る記録を保存する。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>
<p>8 安全な農作業の実施 農機・車両の適切な整備・管理を行うとともに、安全な農作業の実施に努める。</p>	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="checkbox"/>

チェック欄

必須項目

【該当がない項目、実行できなかった項目がある場合等においてその理由、当該項目に係る改善の予定等（記入欄）】

点検日 年 月 日

住 所

点検者氏名
(法人等にあつては、名称及び代表者の氏名)

・本点検シートに係る個人情報の取扱いについて

独立行政法人農畜産業振興機構は、本点検シートの記載内容に含まれる個人情報を「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」及び関係法令に基づき適正に管理し、甘味資源作物交付金及びでん粉原料用いも交付金に係る交付事務のために利用する。
また、申請者の関係する市町村、農業委員会及び農業協同組合へ申請内容を確認するために提供する場合があります。
なお、本点検シートを提出された場合は、本個人情報の取扱いについて同意したものとして取り扱う。